

電 設 新 聞

発行所
社福島県電設業協会
発行人 松崎 勉
〒960-8114
福島市松浪町9-6
(福島県電設業協会館)
TEL (024)533-6226
FAX (024)533-6235
編集印刷有福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

TOSHIBA

明るく、
スリムで、
長寿命。



東芝薄型照明器具
ネオスリムV
東芝ライテック株式会社
郡山営業所 TEL (024)922-5511

事業量の確保に全力

第54回通常総会を開催

当協会は、五月二十六日、福島市のホテル辰巳屋で第五十四回通常総会を開催し、事業量の確保や新分野への参入推進、技術力向上などを柱とした平成十六年度事業計画を決定した。また、総会後には、元国土交通省事務次官で(財)不動産適正取引推進機構理事長の小野邦久氏を講師に記念講演会を開き、将来に向けた建設業の課題や取り組みについて、貴重な示唆を受けた。

新分野への参入促進

委任状を含め会員八十一いさつに立ち「協会として名が出席した総会は、大規模会員企業の受注量確保のため、国や県、市町村、さらけでなく最終ユーザーであるに続き、松崎勉会長があらに社会福祉法人などに電気る県民に、専門工事業とし



設備工事の分離発注と地元業者の活用を繰り返し要請し、発注者の理解によって会員企業が実績を積み上げることができた。発注者だけでなく最終ユーザーである県民に、専門工事業とし

ての電気設備を認識頂き、分離発注を実現して私たちが技術力を存分に発揮していくために、会員が結束し、一丸となって取り組んでいくことこそ、課題が山積する難しい時代にあつて、自らの道を切り拓いていくことと確信致している」と会員に呼びかけた。次に来賓として出席した東土木部建築領域の鈴木康之(知事代理)が「定し、重点目標として『常務自動車道の延伸や渡業への参入推進』『技術力・社員資質向上への取り組み』『建設関係諸機関との連携強化』を確認した。事業として、各種会議の開催をはじめ、事業量確保や分離発注、地元業者活用を内容とする要望活動、講習会・研修会・施工体験発表会などを進めた」と述べた。また、福島市建設部の阿部実参事兼建築住宅課長(市長代理)が「環境保全や高度情報化に資する設備の構築で技術力を発揮して頂



全会員が出席し新年度事業計画を決めた総会

記念講演会

本物が生き残る環境

小野元国交省事務次官語る

総会に引き続き記念講演会を開催、講師として元国土交通省事務次官で(財)不動産適正取引推進機構の小野邦久理事長を迎えた。



講演する小野邦久氏

今回の講演は、当協会の要請を小野氏が快諾し実現したもので、会員に加えて、(財)建設産業団体連合会や県PFI推進協会の関係者も出席した。

小野氏は、東大法学部卒業後、建設省に入省し、計

画局建設課長、日本道路公団総務部長、建設経済局の第一人者で、経済の動向や建設業の課題について述べた上で、専門工事業者の取り組みなど示唆した。講演では、我が国経済の現状について「いくつもの経済指標がプラスになっており、直近一年間の成長は五・六%と中国に次ぐ世界第二位となった。その要因は中国やアメリカ向けの輸出によるところが大きく、合わせて製造業の懸念なりストラが業績回復につながっている。しかし、外需に影響されやすいという脆弱性が見えるほか、中小の非製造業の業績は悪化しており予断を許さない状況にある」と分析した。

その上で、建設業の業況に関しては「惨憺たるもの

「ヤ降り」との見方を示し、建設投資はピーク時の平成四年に八十四兆円だったものが、平成十五年は五十四兆円、平成十六年は五十二兆円になるとの予測があり、その先も縮小する見通しだと述べた上で「こうした状況にあるにもかかわらず、就業者数は減少しておらず、供給過剰な状態が続いている。建設投資額で見ると、バブル期以前の水準にまで下がっており、こうした前提で経営を考える必要がある」とした。また、電気設備に関しては「他の業種に比べると下降率が低く、太陽光や風力発電などの環境関連設備や電化住宅

の急激な伸びが背景となっている」とした。建設産業の課題として、「大手・準大手セネコン等については、経営統合など本格化しており、地域の発展に欠かすことができない中小・中堅建設業についても、今後は再編・淘汰が避けられない状況」と指摘した。さらに、連携・協業化等による経営の効率化や環境・福祉ビジネス等新たな成長分野への進出などの経営革新が重要」と強調し、本物の建設業が生き残る産業環境づくりのため、ペーパーカンパニー等不健全な不適格業者排除の徹底と工事の品質確保に支障をきたし、下請へのしわ寄せなど建設業の健全な発展を阻害するダンピング受注の排除が最重要課題だと語った。

また、現在の建設生産システムにおいて中核的な役割を果たしている専門工事業については、「自己改革により依存的・受け身の体質から脱却し、優勝劣敗・淘汰の時代を乗り越える改革が求められる」として、IT化や提案力の強化、付加価値の発見などを含めた経営基盤の強化、元請・下請関係の適正化、人材の確保・育成への取り組みを求めた。

また、現在の建設生産システムにおいて中核的な役割を果たしている専門工事業については、「自己改革により依存的・受け身の体質から脱却し、優勝劣敗・淘汰の時代を乗り越える改革が求められる」として、IT化や提案力の強化、付加価値の発見などを含めた経営基盤の強化、元請・下請関係の適正化、人材の確保・育成への取り組みを求めた。

当協会は四月十四日に開催した理事会で、空席となっていた専務理事の人事を行い、阿部俊一郎事務局長が新専務理事に就任した。阿部氏は、昨年四月に協会入りし、事務局長を務めてきた。

【感謝状贈呈】
▽齊藤正良(常盤電設産業(株)取締役会長)▽早川武順(早川電気工業(株)取締役社長)▽中島朋康(福島電設(株)代表取締役)▽會川文夫(會川電機(株)代表取締役)▽佐藤博(常興電機(株)顧問)▽浅川誠吾(浅川電設代表取締役)▽車田昭(車田電気工業(株)代表取締役)▽齋藤幹夫(須南電設代表取締役会長)

また、新入会員として(株)常電舎(水品幸意社長)、代表者の変更として齋藤幸一氏(須南電設)、渡邊郁夫氏(ユアテック福島支社)、荒川精一郎氏(常電舎)を紹介した。そして、退任役員や昨年度優良工事受賞者に感謝状を贈り、功績を称えた。議案の審議は全て順調に進み、佐藤博副会長が閉会の言葉を述べた。

4月の理事会で決めた

専務理事に阿部氏

National

実照広告

実照広告

人の目には自然な明るさのまま、虫が集まりやすい光の波長だけをカット。

専用カバーによって、虫が集まりやすい光の波長をギリギリの範囲(410nm以下)までカット。虫の飛来を大幅に低減します。

さらに侵入した虫はおびき寄せて捕獲。ムシベールと組み合わせることで、防虫効果がさらにアップします。

低誘虫照明器具 **ムシベール**

光誘引捕虫器 **ムシバットル**

虫を寄せにくくする。来た虫は捕獲する。

低誘虫照明システム **ムシベール** シリーズ

○商品に関するお問い合わせは、〒963-8024 郡山市朝日2丁目5番15号 松下電工(株)福島営業所 TEL.024-939-7731 まで。
National 松下電工、NAIS 松下電工は National ブランドに統一します。 松下電工

夜間電力利用 蓄熱式空調システム

新エネルギーと技術

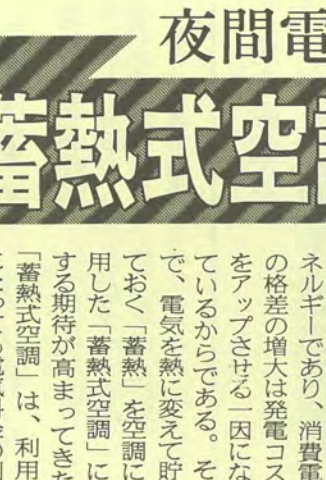
経済性でメリット 環境にも優しいシステム

環境にも優しいシステム

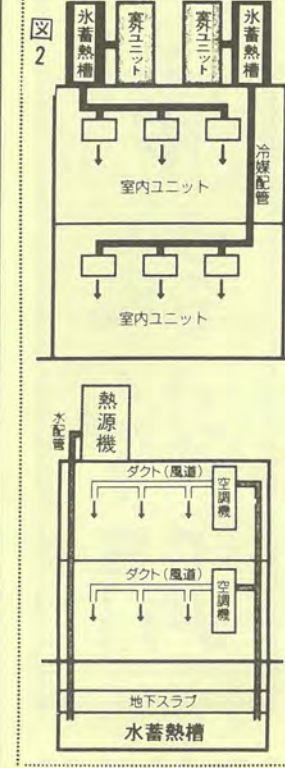
電気を熱に変えて蓄える。毎年増え続ける夏の冷房需要。そして、冷房による昼夜間の消費電力の格差が、大きな問題になっている。電気を貯められないエネルギーであり、消費電力の格差の増大は発電コストをアップさせる一因になっているからである。そこで、電気を熱に変えて貯めておく「蓄熱」を空調に利用した「蓄熱式空調」に対する期待が高まってきた。「蓄熱式空調」は、利用者にとっても電気料金の割引制度など経費削減につながるうえに、環境保全性にも

優れており、今後ますます注目を浴びていくシステムであると考えられている。増大する真夏の空調ピーク需要
空調設備の普及は、真夏の冷房による電力需要のピークを増大させている。全大(電力会社十電力計)で、年間最大電力を記録した日を見ても、約三十年前(一九七五年)には、年間最大電力は七月三十一日の七二五万kWであり、同日夜間の最大電力のポトムは三二二kWであったから、昼夜間の格差は約四〇〇万kWであった。

「蓄熱式空調システム」とは、「蓄熱式空調システム」は、夜間電力を使って、冷房時には「水(もしくは冷水)」、暖房時には「温水」を蓄熱槽に蓄え、昼間の冷房に利用するシステムである。言い換えれば、貯めておくことのできないエネルギーである電気を熱に変え、蓄熱槽に貯めておくことで、昼間の空調用電力消費を少なくするシステムである。したがって、電力負荷の平準化に大きく貢献するシステムであり、電力各社でもその普及を積極的に働きかけているのである。



●夏期の一日の電気の使われ方(年間最大電力を記録した日)
(電力会社10電力計)
ピークの消費量は年々更新の傾向にあり、2001年度では、昼と夜の電力負荷(需要)の差が2倍以上あります
図1、図2の出典
(財)ビートポンプ・蓄熱センターのパンフレット

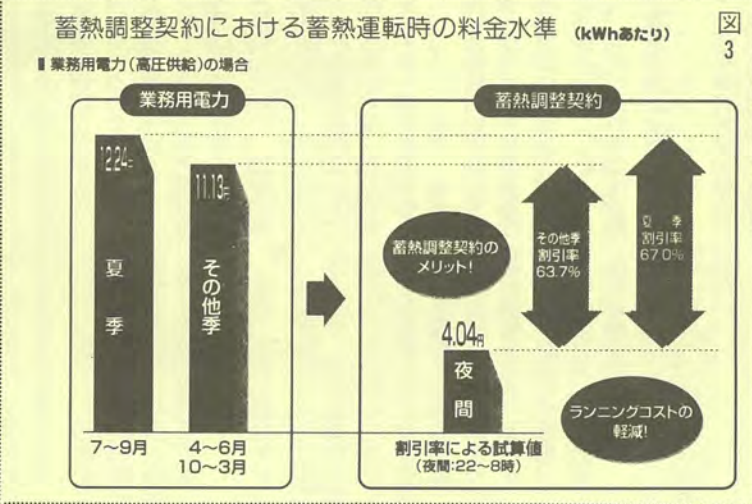


「蓄熱式空調システム」には様々なタイプがあるが、氷の潜熱と顕熱の両方を使って蓄熱できる「水蓄熱式」が一般的であり、一例として、図2のようにビル用マルチエアコンと水蓄熱槽をユニット化した「ビル用マルチタイプ」が、フロアごとの個別空調に対応可能なことから中小のビルから工場、大型ビルまで幅広く採用されてきている。

「蓄熱式空調システム」は、夜間電力を利用して蓄熱し、その蓄熱した水や温水を利用して昼間の空調をまかなうことができる。これにより、昼間の電力を使用する従来型の電気式空調システムよりも、ランニングコスト、すなわち電気料金を低く抑えることができる。

ある状況となっている。電力会社は気温が上がる夏のピーク需要に合わせて発電設備を準備する必要が

あるため、電力需要の少ない季節や夜間には逆に設備過剰を生み、それが発電コストをアップさせるとともに、ひいてはわが国の産業の高コスト構造を生むひとつの原因ともなり、わが国の国際競争力の差にもつながっていく問題となっている。そこで、電力負荷(需要)の山と谷を平ららにして無駄を無くす、いわゆる「電力負荷の平準化」に、電力各社ももとより政府も国策として取り組んでいくところである。



「水蓄熱式空調システム」利用者のメリット
それでは、「蓄熱式空調システム」を実際に導入し、利用するユーザーには、どのようなメリットがあるのだろうか。

第一に、「蓄熱式空調システム」は利用者にとって経済性のものでメリットがある。電力会社と協議のうえ電力会社の契約メニューである「蓄熱調整契約」に加入することで、昼間の電力と比べると大幅に安価な夜間電力(二二時~八時)を使用し、蓄熱槽に蓄熱し、その蓄熱した水や温水を利用して昼間の空調をまかなうことができる。これにより、昼間の電力を使用する従来型の電気式空調システムよりも、ランニングコスト、すなわち電気料金を低く抑えることができる。

FA・OAのシステムプランナー

株式会社ニノテック

代表取締役社長 樽川次男

本社 〒963-8034 郡山市島二丁目44-2
Tel (024) 935-1700(代)

支店 仙台
営業所 いわき 福島 宇都宮
出張所 棚倉
事務所 東京

換気扇・照明器・空調機・太陽光発電

株式会社三菱電機ライフファシリティーズ

福島電材支店
福島冷住支店

TEL (024) 959-6060
FAX (024) 959-6066

東北キャンマー株式会社

いわき支店

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一

TEL (024) 581-5811
FAX (024) 581-5818

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社

本社 〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

営業所 白河 河川 TEL (0248) 27-3385(代)
須賀 山西南 TEL (0248) 72-7136(代)
郡山 郡山北 TEL (024) 952-5455(代)
郡山 郡山北 TEL (024) 923-3298(代)
郡山 郡山北 TEL (024) 939-3081(代)
原相 原相馬 TEL (0242) 37-2660(代)
相馬 相馬馬 TEL (0244) 22-5105(代)
福島 福島東 TEL (0244) 35-1234(代)
福島 福島南 TEL (024) 546-3700(代)
いわき 福島南 TEL (024) 553-1181(代)
勿 勿 TEL (0246) 28-6111(代)
勿 勿 TEL (0246) 62-3122(代)

茨城県内・千葉県内・埼玉県内・栃木県内・新潟県内 29カ所
住設建材営業所 6カ所



蛭田技監らへの要望内容説明

当協会は六月七日、県土木部長、それに阿部俊一郎専務理事が県庁に出向き、土木部の蛭田公雄技監、佐藤長元業者活用を要望した。蛭田技監らは、要望内容について理解を示すことも、地元業者の体勢や技術力を啓蒙していくことが重要との認識を示した。

松崎勉会長をはじめ大槻賢彌・佐藤脩一・丸山不二雄の三副会長、大室功福島支部長、渡辺道雄郡山支部長、謝の意を表した上で、下水道や道路の通信設備

下水道や道路の通信設備

県に地元活用を要望

れば、以下の三つがある。一つ目は、他の空調システムと比較してイニシャルコストが割高になる点である。「蓄熱式空調システム」は、従来の空調と比べて不要な蓄熱槽を設置しなければならず、従来の電気式空調システムと比べても初期投資は大きく異なる。ただ、ランニングコスト

の低減により、初期投資の増分が仮に数年程度で回収されるといふ事となれば、機器の耐用年数におけるトータルコストは、他の空調システムよりもずっと安く済むということにもなる。

二つ目は、夜間空調の必要性の有無である。夜間(二時〜八時)に蓄熱運転に入る「蓄熱式空調システム」は、二時から翌朝八時までは空調運転しないことを前提としている。仮に、二時以降も空調が必要となれば、電力会社との協議のうえで「蓄熱式空調システム」の運転方法を調整しなければならず、経済性のメリットもその分小さくなる。

三つ目は、蓄熱槽の設置に伴う問題である。蓄熱槽

の設置にスペースが必要となるが、スペースに余裕がない場合は屋上等のデッド・スペースを活用して設置することとなる。その場合、重さが数トン以上にもなる蓄熱槽に建物が耐えられるかなど、事前の調査が必要となる。また、夜間に蓄熱運転をする(室外機が動く)ので、それに伴う運転音などについても配慮

が必要なる場合もある。なお、前述のとおり「蓄熱式空調システム」については電力会社でもその普及拡大を積極的に提案する活動をしており、以上のような留意点に関するコンサル、問い合わせなどについても、東北電力まで連絡すれば対応してくれる。

※問い合わせ先 東北電力 福島支店お客さま本部大

口営業グループ・TEL024-522-9151(代)最後に:

このように、導入検討に当たってはいくつかの留意点もあるが、電気エネルギー利用のメリットに加え、経済性・環境保全性に優れた「蓄熱式空調システム」は利用者にとってもメリットのある魅力的なシステム

である。我々電気設備に携わる者としても、「設備は設備会社さん任せ」とばかりにはせず、利用者のメリットとなるシステムについては少なくとも一般的な知識を持ち、必要に応じて提案できるようにしていきたいと考えている。

(資料提供 広報委員相笠 恵一)

平成十六年度各種功労者知事表彰の表彰式が五月三日、県庁の正庁で執り行われ、長く県政に寄与した今年度受賞者四十七人と二団体が、佐藤栄久知事より表彰状の授与を受け、晴れの栄誉を称えられた。県民の歌斉唱に続いて、佐藤知事から受賞者一人ひとりに表彰状が授与され、

高橋理事が知事表彰

会員の指導育成に尽力

佐藤知事が「本日、表彰を受けた皆様は、永きにわたり県政の発展に寄与され、将来の繁栄を導くものとして県民の鏡でもある。今後、これまでの経験を生かし、それぞれの立場でご活躍されることを期待します」と祝辞を述べた。これに対して、受賞者を代表して伊藤寛氏(元・三

建設マスター 先月の27日に顕彰式

この顕彰は、平成四年から実施されているもので、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事している技能者に誇りと意欲を持ってもらうとともに、これらの技能者を広く国民に知ら

事務局だより

通常総会、大変お疲れ様でした。事務局もホッと一息ついておるところです。が、新年度の事業展開に向けて早速走り出さなければなりません。広報委員の皆様を中心として、よろしくお願ひ申し上げます。

水無月、梅雨の季節を迎えましたが、今年はカラ梅雨か、それとも本格的な雨か、それはお天気任せとしまして、心はカラッと爽やかに乗り切りたいと願っております。(専務理事 阿部俊一郎)

電気技術総合コンサルタント!!
自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。

社団法人 東北電気管理技術者協会

協会本部/仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレシザ仙台ビル ☎(022)261-6015
 福島県支部/伊達郡川俣町飯坂戸ノ内5-3 ☎(024)566-3087
 福島電気管理センター/安達郡安達町油井字津原町42 ☎(0243)22-2674
 郡山電気管理センター/郡山市日和町字日向84-5 ☎(024)958-5203
 会津電気管理センター/河沼郡河東町大字谷沢字十文字53 ☎(0242)75-2518
 相双電気管理センター/原町市仲町一丁目157 ☎(0244)22-2817
 白河電気管理センター/西白河郡東村大字釜子字枇杷山68-3 ☎(0248)34-2205
 いわき電気管理センター/いわき市平字堂ノ前18 ☎(0246)21-9828

電気設備の総合メンテナンスは当協会に!!

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

財団法人 東北電気保安協会

福島事業本部 福島市置賜町1-29 ☎(024)528-9366
 福島事業所 福島市泉字南谷地5-6 ☎(024)557-2161
 原町事業所 原町市上波佐字原田432-1 ☎(0244)22-3568
 郡山事業所 郡山市富田町稲川原1 ☎(024)932-6054
 白河事業所 白河市東三坂山2-47 ☎(0248)22-6066
 いわき事業所 いわき市好間町上好間字洞42-1 ☎(0242)32-3350
 会津事業所 会津若松市北町大字上荒久田字北147 ☎(0241)62-4847
 田島事業所 南会津郡田島町大字田島字大坪490-1 ☎(0248)72-9120
 須賀川事業所 須賀川市大字西川字後田78-5

IWASAKI

高効率、高演色、省エネのセラルクス!!

セラミックメタルハライドランプ **CERALUX**
70W-150W-250W-400W

岩崎電気株式会社 http://www.iwasaki.co.jp/
郡山営業所/〒963-8046 郡山市町東3丁目103番 TEL.024(961)2292

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社
東北電材社

福島支店

福島営業所 TEL(024)553-4165
 開発営業所 TEL(024)553-4165
 相馬営業所 TEL(0244)36-8901
 郡山営業所 TEL(024)934-3065
 白河営業所 TEL(0248)21-0360
 いわき営業所 TEL(0246)75-0700

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電設資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市宮城野区日の出町2丁目2-13
TEL(022)783-8181

■福島営業所/福島市瀬上町字桜町3丁目12-3 ☎(024)553-8551代
 ■郡山営業所/郡山市大槻町下町東52 ☎(024)961-6667代
 ■いわき営業所/いわき市鹿島町御代一田1-1 ☎(0246)76-1055代
 ■原町営業所/原町市北原字本屋敷153 ☎(0244)23-6106代
 ■相馬営業所/相馬市権木字北原104-1 ☎(0244)35-6350代

技術と信用を誇る
電気、機械の総合メーカー!!

DAIZEN

(販売元) **大然総業株式会社**
(製造元) **大全電機株式会社**

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号
TEL(022) 288-0701代 FAX(022) 288-0705

協会支部だより

福島支部

信頼と結束を強固に

福島支部は、五月十八日午前十一時から電協会館三階会議室にて、会員二十二名、準会員二名の全員参加により、平成十六年度支部総会を開催いたしました。最初に、本年四月に逝去された電工社社長長故作田氏の御冥福を祈り黙祷をいたしました。

大室支部長より「厳しい経済環境及び公共工事の減少、民間工事の価格破壊等の現況には、会員一丸となり取組み、乗り切っていく。会員

相互の信頼と結束を強固にし、会員各社の安定と協会の目的達成の努力が必要である」と挨拶がありました。

郡山支部

支部総会を開催

さる四月十三日に郡山ビュ―ホテルアネックスにおいて平成十六年度の支部総会が開催されました。

まず、渡辺支部長が「諸々の問題があるが、今年一年全メンバーが協力して元気がいかにばらばら」の掛け声の下、今年度の歩み方を確認しあいました。

後に前年度事業・決算報告並びに事業計画案・収支予算案が提出され、全員一致で可決承認されました。また、協会本部への入会申し込みを提出していた(株)常電舎の入会が

協会の動き

本部行事のみ掲載

【4月】

- 7日・第1回総務委員会(協会)
 - ・(株)県建設産業団体連合会(建産連)東北支部打合会に梅澤理事が出席(福島市)
- 8日・県立会津高等技術専門学校入学式に会津支部長が出席(塩川町)
- 9日・(株)県建産連相双支部打合会に渡部理事が出席(原町市)
- 12日・県建産連第71回正副会長会、第72回役員会に会長が出席(福島市)
- 13日・(株)日本電設工業協会東北支部第1回常任委員会に会長が出席(仙台市)
- 14日・全理事が出席し第1回理事会(協会)
 - ・第1回広報委員会(協会)
 - ・(株)県建産連南会津支部打合会に新田理事らが出席(田島町)
- 19日・平成15年度決算監査(協会)
- 20日・(株)日本電設工業協会の監査に会長が出席(東京)
- 21日・4月度会計審査業務(協会)
- 23日・(株)日本電設工業協会理事会に会長が出席(東京)
- 26日・県建産連第55回専務・事務局長会議に専務が出席(福島市)
- 28日・第2回広報委員会(協会)

【5月】

- 7日・NPO循環型社会推進センター総会に会長が出席(福島市)
 - ・同講習会に会長、専務、申し込み会員が出席(福島市)
- 10日・(株)日本電設工業協会東北支部総会に会長と専務が出席(仙台市)
- 13日・(株)日本電設工業協会第54回総会に会長が出席(東京)
- 14日・5月度会計審査業務(協会)
- 15日・第3回広報委員会(福島市)
- 17日・県PFI推進協会理事会・総会に会長が出席(福島市)
- 18日・(株)県建設業協会総会に会長が出席(福島市)
- 20日・佐藤栄久知事を励ます会に丸山副会長が出席(郡山市)
 - ・(株)県建設業協会総会懇親会に会長が出席(福島市)
 - ・福島地区電気工事協同組合総会に専務が出席(福島市)
- 21日・(株)県空調衛生工業協会総会懇親会に会長が出席(福島市)
- 25日・(株)全国建産連理事会に会長出席(東京)
- 26日・全会員が出席し本協会第54回通常総会記念講演会、懇親会(福島市)
- 27日・会長、大槻・佐藤副会長と専務が通常総会御礼の挨拶(福島市)
 - ・建設業労働災害防止協会支部(建災防)第67回役員会に会長が出席、建災防支部総会に会長と佐藤・丸山副会長が出席(福島市)
 - ・県建設設計協同組合総会懇親会に大槻副会長が出席(福島市)
 - ・県電気工事工業組合総会懇親会に会長が出席(福島市)
- 28日・(株)県建設業協会総会に丸山副会長が出席(須賀川市)

●ご意見をお寄せ下さい●

E-mail: fukudensethukyo@syd.odn.ne.jp

いわき支部

社長就任の抱負

六月に常興電機(株)の社長に就任致しました。

就任当時、友人、知人の皆様よりお祝いの言葉を頂きましたが、「大変な時期に」という言葉が大半でした。しかしながら自分は、こんな時期だから結果を恐れずなんでも出来るチャンスと思いいつじつと頑張りたいと思っています。

私が当社へ入社したのは昭和六十二年七月でした。入社当時はバブル前の若干不況の時でしたが、それから間もなくバブルを迎え、そしてバブルが弾けて、三度の景気の移り変わりの中で仕事を続けて来ました。景気に左右され易

相双支部

人材の育成が柱

さる五月二十四日、十八時より第二十七回通常総会がホテルラファイヌで開催されました。

八巻支部長の挨拶の後議事に入りました。第一号議案は平成十五年事業報告並びに決算書の承認について、第二号議案は平成十六年度事業計画案並びに収支予算案の承認について審議された。

平成十五年事業報告は、積極的に国、県、事業団等陳情活動を続けていたが、予算削減による発注量の減少に伴い、なかなか思う様な会員の

会津支部

市長を迎え総会

さる四月二十一日に萬花楼において、平成十六年度会津支部通常総会が開催されました。

まず平成十五年事業報告並びに同決算、続いて平成十六年度事業計画案並びに同予算案が審議され、原案通り全会一致で可決承認されました。その後、会津若松市長を来賓に懇親会が開催されました。時、折しも萬花楼の桜の花びらが散る中、雪見戸を通

た。(株)青田電気商会・青田純)

編集後記

いのちの水

二十年ほど前、友人に勧められて以来、アルカリ水を飲用している。今、健康ブームで様々な健康市場があるが、紅茶キノコ、パイオター、健康ドリンク、玄米食、野菜スープ、スポーツジムの、今でも続いているが、十五年近くきりがないほど「健康おたく」である。

最近では、水の大切さを唱える人が多く、飲料用ペットボトルの消費が年々増えている。海外と違い、日本の水道水は安心して飲用できるが、弱酸性か中性がほとんどである。本来、人間の体はアルカリ性であり、その体に弱酸性の飲料水を摂るよりは、水道

水のアルカリ交換を勧める。世界に二カ所、「命の水・奇跡の水」フランスと日本の大分に湧き出て話題になっているが、この水に共通するのはアルカリ性水である。成人病予備軍の多い年代の友人に、老化や癌の原因になる活性酸素を排出できる体質改善のため、料理・引用ともにアルカリ性水を勧めている。適度に間違ったダイエットは、身体を枯れさせる。初老から「医食同源」、バランスの良い食生活を心がけたら、家の書に「健康な体には健康な精神が宿り、自ずと家が栄え、そして国が栄える」とある。広報委員長 三浦光博

KOTO
安全と快適を求めて

交通管制システム/道路気象観測システム
交通信号機/道路情報表示システム

小糸工業株式会社

東北支店 TEL.022-225-7501 FAX.022-267-5053

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

ワイム

株式会社山形電機製作所
福島営業所 所長 高橋 實

福島市大森字宮ノ前54-5 〒960-1101
TEL (024) 546-1321 FAX (024) 546-1322
支店・営業所/東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
工場/山形・北海道千歳

配分電盤専門メーカー

営業品目
屋内外キュービクル・高低圧配電盤
各種自動制御盤・各種分電盤

株式会社福陽電機製作所

福島市天神町10番41号
TEL (024) 534-1528 FAX (024) 533-8590

つづく未来につづけるエネルギー

- ◎自家発電装置・CVCF発電装置設計・販売・据付・保守点検・整備
- ◎コージェネレーションシステム
- ◎直流電源装置・バッテリー交換
- ◎負荷試験・保護継電器・絶縁耐圧試験

株式会社 機電エンジニアリング

〒963-8845 福島県郡山市名倉247番地の1
TEL 024-946-0094
FAX 024-946-1394
http://www.kiden21.com

安全と信頼

日本信号株式会社

■営業品目 ●交通信号製品 ●駐車場機器製品
●入退館システム

■東北支店
〒980-6122 仙台市青葉区中央1丁目3番1号(AERビル)
TEL (022) 261-8371(代) FAX (022) 225-4627

配電盤 制御システムメーカー

FURUKAWA

古川電気工業株式会社
郡山支店
支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ●TEL (024) 934-0859
FAX (024) 934-0861

本社: 仙台市宮城野区扇町2-1-10
仙台工場: 仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所: 仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌